



八高新時代!! 君も挑戦、八高で三刀流!!

「知の泉」に「緑の風」吹く

令和5年9月1日(金)

兵庫県立八鹿高等学校

校長 山本 宏治

12

第75回八高祭 総合開会式の挨拶で、次の話をしました。

7月13日(木)にここYBファブで行われた芸術鑑賞会で、笑福亭鶴笑師匠から次のメッセージをいただきました。「人をおとしめたり、ばかにしたりして得られる笑いは、本当の笑いではありません。真の笑いは人を幸せにしてくれるのです。」

第75回八高祭では、皆さんがそれぞれ最高のパフォーマンスを披露してくれて、そして同時に誰もが笑顔になれる、そんな時間と空間を共有できることを確信します。

今回の八高祭テーマに使われている「懐夏(かいか)」という言葉は、「開花」とかけあわせた言葉、とのことですね。

「花開く」という言葉に関連して、皆さんに次の言葉を贈ります。

Claudia Taylor Johnson という方の言葉であるとされています。

Where flowers bloom, so does hope.

「花が咲くところ、希望もまた花開く」

八高祭(二日間の文化祭と、後日行われる体育祭)を通して、希望の道を一歩ずつ進んでいく八高生に勇気が与えられますように。そして、一人ひとりの「希望の花」が見事に開きますように。